

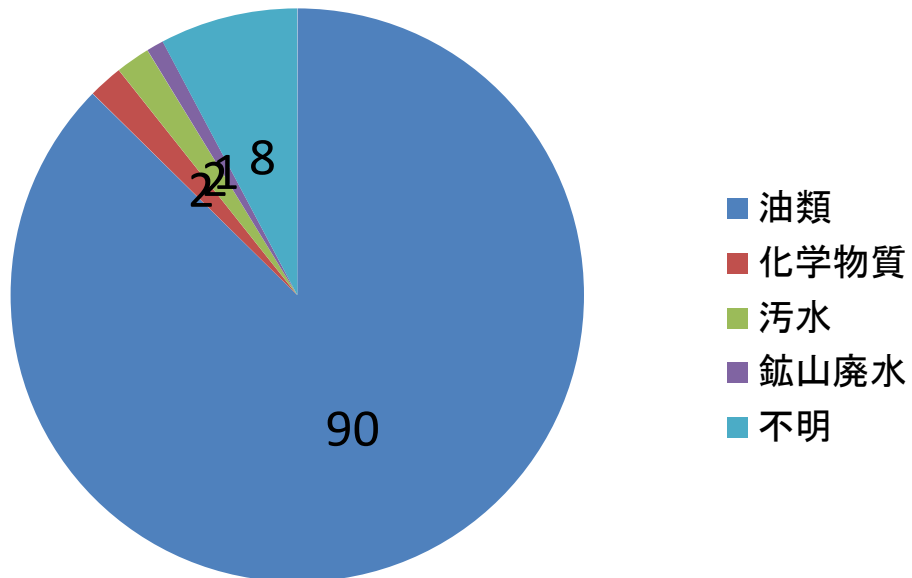
# 平成26年 水質事故の発生状況

国土交通省 酒田河川国道事務所 須田均

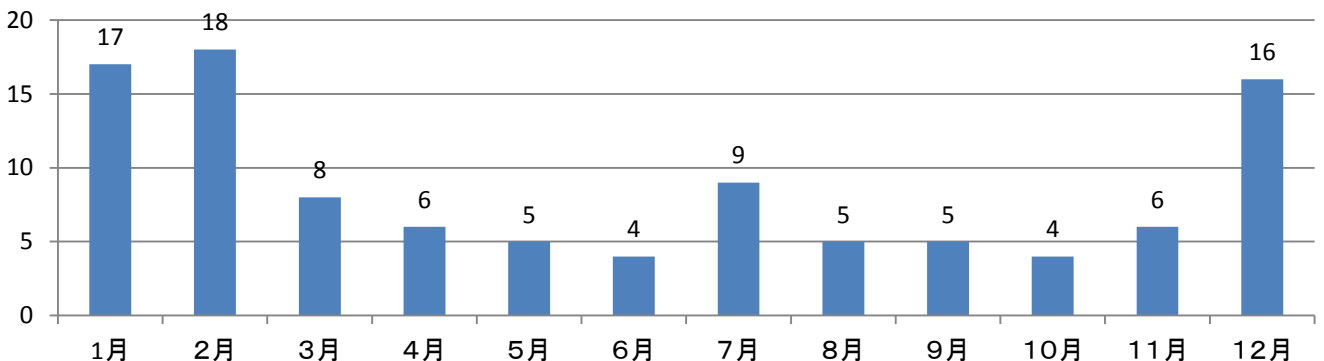
平成26年 山形県内の河川(最上川水系・赤川水系)では103件の水質事故が発生しました。発生源別では、暖房用の灯油を誤って流す等の油類の事故が最も多く発生し、月別比較でも冬期間に多く発生しています。市町村別では、鶴岡市が14件で最も多く、山形市・米沢市・長井市がそれぞれ12件で続いています。

水質事故は、被害が大きくなると水道水の供給停止など市民生活に大きな影響がでます。そのため、河川管理者及び自治体等で組織する「水質汚濁対策連絡協議会」では、事故撲滅のための広報活動を行っており、近年は事故発生が減少傾向にあります。

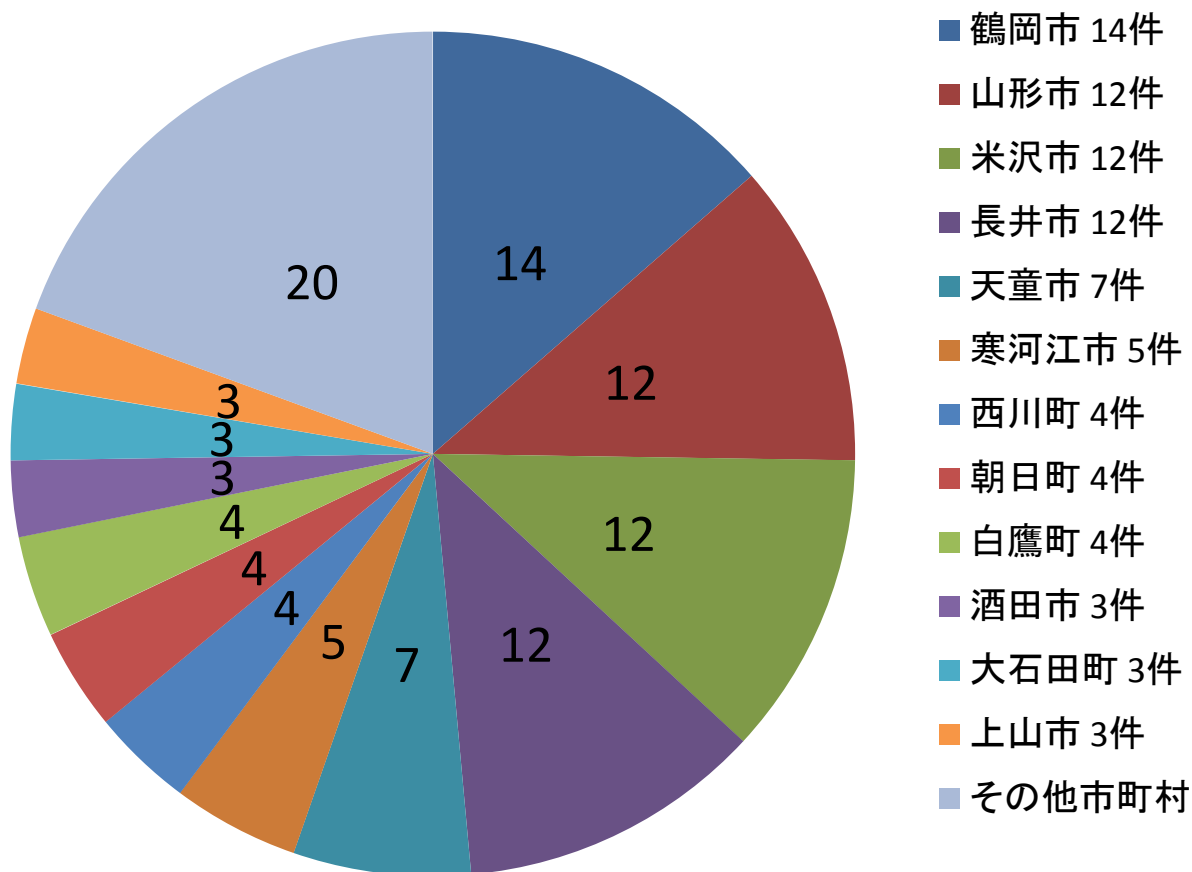
## H26水質事故 発生源別件数



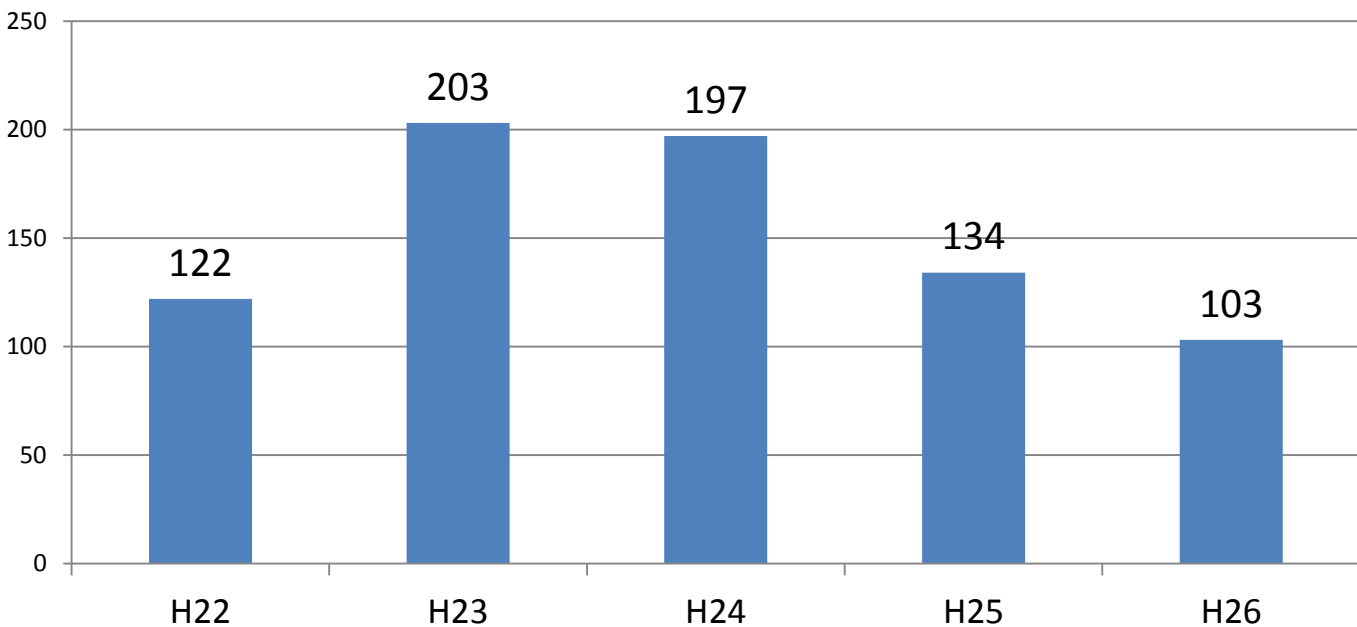
## H26月別 発生件数



市町村別 発生件数



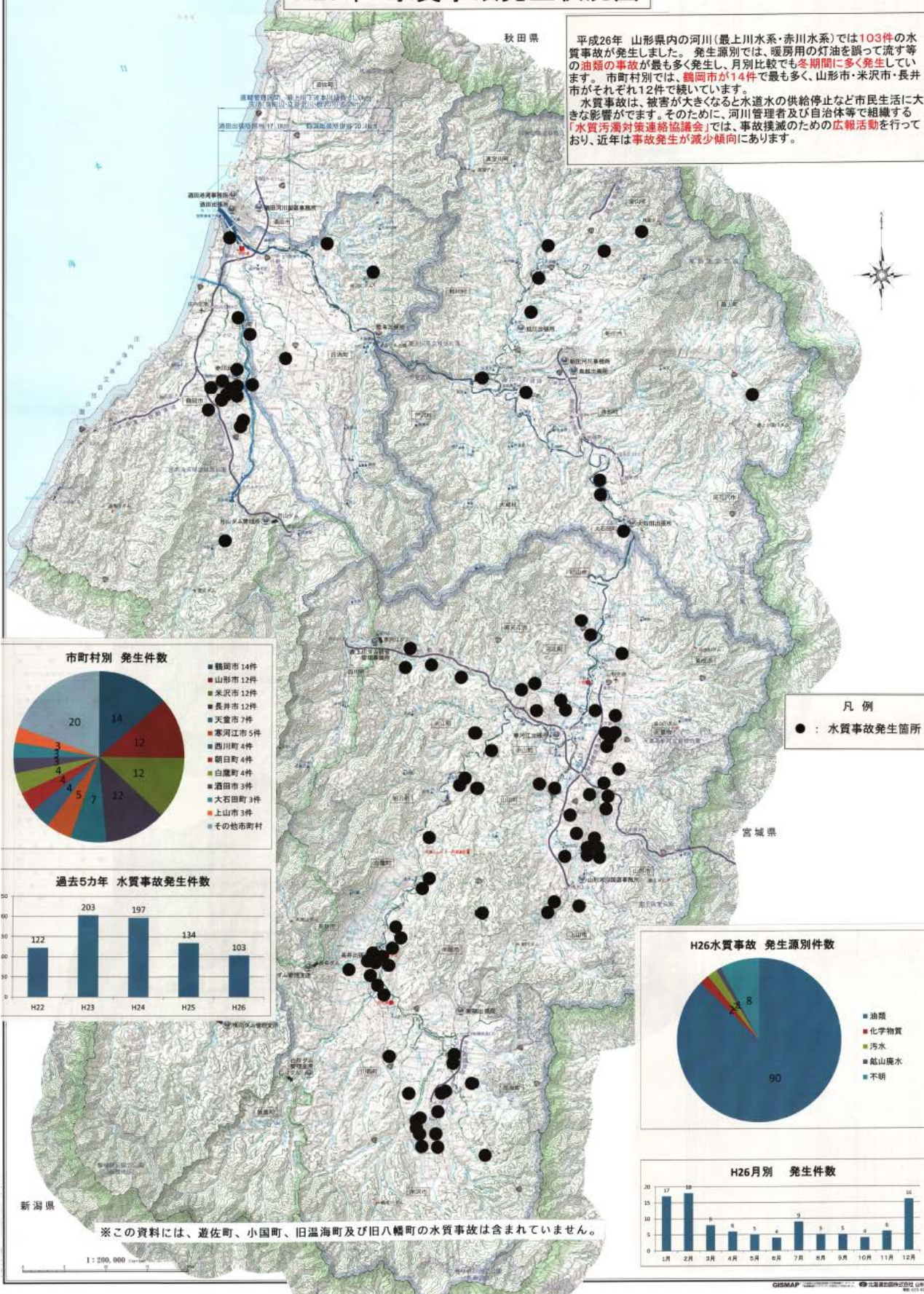
過去5力年 水質事故発生件数



# H26年 水質事故発生状況図

平成26年 山形県内の河川(最上川水系・赤川水系)では**103件**の水質事故が発生しました。発生源別では、暖房用の灯油を誤って流す等の**油類の事故**が最も多く発生し、月別比較でも**冬期間**に多く発生しています。市町村別では、**鶴岡市**が14件で最も多く、**山形市・米沢市・長井市**がそれぞれ12件で続いています。

水質事故は、被害が大きくなると水道水の供給停止など市民生活に大きな影響がでます。そのために、河川管理者及び自治体等で組織する「**水質汚濁対策連絡協議会**」では、事故撲滅のための**広報活動**を行っており、近年は**事故発生が減少傾向**にあります。



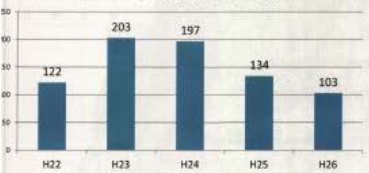
市町村別 発生件数



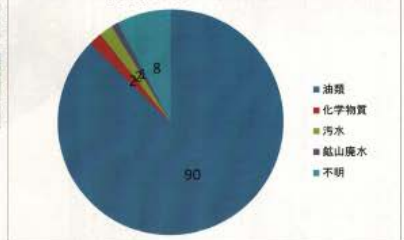
凡例

● : 水質事故発生箇所

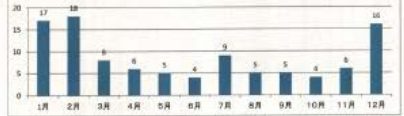
過去5カ年 水質事故発生件数



H26水質事故 発生源別件数



H26月別 発生件数



※この資料には、遊佐町、小国町、旧温海町及び旧八幡町の水質事故は含まれていません。

1: 200,000